



しろしたこうさく

# 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者  
熊本県会議員



熊本県庁  
〒862-8570  
熊本市水前寺6-18-1  
Tel.096-383-1111  
(内線2008)

県民の身近な代弁者

2012年 10月発行

第 52 号



## ご挨拶

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る7月12日未明の豪雨により県下では多くの尊い命が奪われ、家屋の倒壊をはじめ生活を営むために必要なインフラが崩壊するなど、想像を絶する被害を受けました。私は、災害当日から熊本市内の白川流域を中心に廻り、被災者へのお見舞いのご要望を聞き、必要な対応を取るよう県や市に対して意見要望を行ってきました。

9月議会では一般質問の中で、具体的な支援のあり方を取り上げ、前向きな答弁を頂きました。今後とも被災者の気持ちに寄り添い頑張る所存です。

熊本県議会議員 城下広作



▲龍田陣内地区・被災者宅前



▲龍田陣内地区・被災状況の確認



▲菊池市旭志の道路崩壊現場

## 9月議会・一般質問内容

6月議会において、小野副知事が誕生しました。本格的な議会での登壇がなかったため、県政の重要な政策の取り組みについて、小野副知事の考えをお尋ねしました。

### 質問1

小野副知事の県政運営に対する考えについて(小野副知事) 県政運営、エネルギー政策、道州制、五木村振興等の副知事の考え

### 答 弁

約8分間の長い答弁で、全体的には蒲島知事を支える覚悟と、熊本が地理的条件、環境、食べ物等に恵まれている利点を生かし、日本一の県にしたいとの決意を述べられた。

(右記事は地元紙での紹介。熊日9月22日付)

○：6月に、戦後の県政史上最年少の38歳で副知事に就いた小野泰輔副知事が21日、県議会の一般質問で初答弁した。緊張した面持ちながらも、原稿を棒読みせず前を見て話す「らしさ」を見た。

### 県政記者席

### 初答弁 棒読みせず

「政策や五木村振興などにかける思いを8分余りじっくりと説明した。」  
○：質問した公明党の城下広作氏(熊本市北区)は「自分の言葉で話そうという気持ち伝わってきた」と好感。議場からも(答弁は)90点との声が上がったが、議場を後にした小野氏は「答弁に点はつけない。仕事で結果を出すだけです」と表情は硬いままだった。(潮崎知博)

### 質問2

小野副知事の任命と最近の国政について(蒲島知事)

### 答 弁

小野副知事を任命し、この3ヶ月間懸命に働いていると評価。(国政に関しては、右地元紙の記事を参照。熊日9月22日付)

### 質問3

7・12熊本広域大水害の復旧対策と今後の防災・減災対策について(土木部長・健康福祉部長)

- 白川の河川整備計画
- 立野ダムの効果
- 龍田陣内地区の今後の復旧
- 土砂災害の今後の対応
- 防災・減災に対する今後の対応
- 災害ボランティアの効率的な活動支援

### 答 弁

現行の整備計画に基づき浸水被害の復旧を進め、立野ダムの有効性を評価し早期の完成を求めていく。また、龍田陣内地区の最善の措置と、土砂災害の総合対策と防災・減災対策の庁内における総合対策や連携強化策、ボランティアの効果的な配置に取り組むとの県の方針が打ち出された。

### 質問4

いじめ問題について(教育長)

- アンケート結果に対する認識
- いじめ減少に向けての具体的な対応
- アンケートができなかった児童生徒への今後の対応

### 答 弁

アンケートの結果を重く受け止め、問題解決に向けて積極的に支援し、深刻な問題は警察等にも支援を求め、第三者を含めた委員によるいじめ対策検討委員会を立ち上げ、市町村教育委員会及び学校に対する支援のあり方を検討する。また、アンケートができなかった児童生徒に対しては、保護者等からの聞き取りも行いながら、一人でも多くの児童生徒の思いを把握するよう指導するとの答弁がありました。今後も、いじめの減少に向けて頑張ります。

### 質問5

在来線の高架化事業の遅れについて(土木部長・商工観光労働部長)

- JR九州への県の対応
- 高架化事業の一日も早い完成
- 東口駅前広場の整備
- 駅周辺への物産館の設置

### 答 弁

文化財の発掘等様々な理由があるが市とも連携しJR九州に工程管理を強く求めていく。物産館については機能の充実を図られるよう努めると答弁がありました。

●ホットライン(お気兼ねにご相談ください)

県議会/096(383)1111(内線2008)・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●メール [shiroshita@kumamoto-komei.net](mailto:shiroshita@kumamoto-komei.net)

## 交付税減額

政府予算の執行に不可欠な公債発行特例法案が通常国会で成立せず、9月に配分予定だった県への普通交付税が大幅減額されたことについて、

## 国会の対応 知事が批判

心を批判した。県によると、9月分の交付税は約543億円を見込んでいた。しかし、特例法案の廃案によって政府は予算執行を抑制。交付税も11月まで月割りで交付される見通しで、9月分は約181億円に減額された。資金繰りのための一時借入金(利息負担は、200万円前後)と試算している。知事は「ただちに県財政運

営に大きな支障が生じるものではないが、きわめて異例の措置」と指摘。廃案の原因となった与野党の攻防激化に対し、「衆院解散をめぐる国民不在の政局中心というべき政治状況に、国民の間で政治不信や閉塞感が広がっているのではないかと懸念も表明した。」

公明党の城下広作氏(熊本市北区)に答えた。(亀井宏二)